

「原料費調整制度」等による適用ガス料金の調整について (2024年11月検針分)

武州ガス株式会社は、「原料費調整制度」等に基づき、2024年11月に適用する1m³当たりの単位料金を、2024年10月検針分に適用の料金に比べ8.10円(消費税込)上方に調整させていただきます。調整は、検針月の5か月前から3か月前まで(中2か月)の3か月平均の原料価格変動額に応じて行うもので、2024年11月検針分の単位料金は、2024年6月から2024年8月の平均原料価格に基づき算出しました。

また、「酷暑乗り切り緊急支援」実施に伴い値引き(1m³あたり税込み10.0円)が反映されております。この結果、1か月に32m³(45MJ/m³)のガスをお使いになる標準家庭で、2024年10月検針分に比較して、259円(消費税込)ガス料金が上がります。

供給約款料金表

(消費税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (円/月)	単位料金 (円/m ³)		基準単位料金 (円/m ³)
			2024年11月適用 単位料金(円/m ³)	2024年10月適用 単位料金(円/m ³)	
料金表A	0m ³ から20m ³ まで	814	202.42	194.32	160.00
料金表B	20m ³ をこえ50m ³ まで	1,329	176.62	168.52	134.20
料金表C	50m ³ をこえ200m ³ まで	1,632	170.57	162.47	128.15
料金表D	200m ³ をこえ450m ³ まで	3,214	162.67	154.57	120.25
料金表E	450m ³ をこえ750m ³ まで	5,402	157.79	149.69	115.37
料金表F	750m ³ をこえるもの	10,847	150.55	142.45	108.13

※2024年9月適用単位料金より1m³につき税込10.0円の政府支援を踏まえた値引きがされております。

詳細は経済産業省の「電気・ガス料金支援サイト」をご覧ください。

(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/>)

標準家庭における影響

(消費税込)

1か月のご使用量	2024年11月検針分の料金	2024年10月検針分の料金	影響額
32m ³ (45MJ/m ³)	6,980円	6,721円	259円

原料価格の変動

基準平均原料価格 (a)	34,700 円/t
2024年6月～2024年8月の 平均原料価格 (b)	95,810 円/t
LNG価格	94,610 円/t
LPG価格	95,700 円/t
差 額 (b-a)	61,110 円/t

[参 考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 基準平均原料価格(34,700円/t)と「平均原料価格(料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.0858円(0.078円に1.10(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。□

単位料金調整額の算定方法

- ・ 平均原料価格の算定

	LNG平均価格	(貿易統計ベース)	94,610 円/t	×	0.9608
+	LPG平均価格	(貿易統計ベース)	95,700 円/t	×	0.0513
			95,810.698 円		
				↓ (10円未満四捨五入)	
			95,810 円/t		

- ・ 原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 34,700円/tからの変動額)

$$95,810 \text{ 円/t} - 34,700 \text{ 円/t} = 61,110 \text{ 円/t}$$

↓ (100円未満切り捨て)

$$61,100 \text{ 円/t}$$

- ・ 単位料金調整額(1m³当たり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = 61,100 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times 0.0858 = 52.4238 \text{ 円}$$

↓ (小数点第3位以下切り捨て)

$$52.42 \text{ 円}$$

$$\text{激変緩和対策} \quad 1\text{m}^3\text{あたり} \quad -10.0\text{円を反映} \quad = \quad 42.42 \text{ 円}$$